

子ども英語力向上プロジェクト

アナ： 「市長が語る 2017 三島」第 25 回の今日は、「子ども英語力向上プロジェクト」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： まず「子ども英語力向上プロジェクト」は、どのような経緯で行うことになったのか教えてください。

市長： 2020 年の学習指導要領の改訂によりまして、これまで小学校 5、6 年生で行っていた外国語活動が教科化されます。さらに、小学校 3、4 年生からは小学校外国語活動が始まります。

また、三島市は、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックのアメリカバレーボールチームのホストタウンとして登録されていますので、外国から多くの関係者、観光客が来ることが予想されます。

このような状況を踏まえ、子どもたちの英語力をいっそう高め、さまざまな人とコミュニケーションを図ることができるようなグローバルな人材を育成したいという願いから、本プロジェクトをスタートしました。

アナ： 子どもたちの英語力を高めるとともに、コミュニケーション能力の育成も図るということですね。では、具体的には、どのようなことをするのですか。

市長： まず、夏休みの期間を利用して、小学生が楽しく英語に触れる機会をつくろうと考え、「子ども英語講座」を企画し、8 月 9 日に実施しました。

アナ： 具体的には、どのような内容ですか。

市長： 三島市内の公立小学校 5、6 年生を対象に、ゲームやさまざまな活動を通して、簡単な英単語やフレーズを話す講座です。市内の小中学校に勤務している ALT（外国語指導助手）が講師を務めました。子どもたちはパスポートを持って、4 つのプログラムを体験しました。例えば、「あなたはどこの国に行きたい？」と尋ねて、「私はアメリカに行きたい。」と答えるようなやりとりを、ゲームを通して行いました。

アナ： 遊びを通して英語に親しむのですね。講座を終えてみて、いかがでしたか。

市長： 大変好評でした。最初は、英語を話すことに躊躇する子もいたのですが、時間が経つにつれて慣れてきて、積極的に声に出して英語を話していました。英語を話すことで、子どもたちの心もオープンになったと思います。同じグループになって初めて会った子ども同士が、仲良くなって帰っていく姿も見られました。

アナ： 楽しみながら英語を話すことで心もオープンになれば、外国からのお客様にも臆せず接することができそうですね。

市長： そうですね。ありがとうございます。

このほかにも三島市では、10月から公立中学校3年生を対象に、英検3級の検定料を全額補助する制度をスタートさせます。

アナ： 具体的には、どのようなものですか。詳しく教えてください。

市長： 市内の公立中学校3年生を対象に、中学校卒業程度の英語力とされている英検3級の受験について、学校を通じて申込を行う際、検定料の負担なく、チャレンジしてもらおうとするものです。可否の結果に関係なく1人につき1回のみ検定料3,800円の全額を市が支援するものです。

アナ： 全額支援してもらえるのは、うれしいですね。なぜこの制度をスタートさせることにしたのですか。

市長： 三島市では、平成28年度の英語教育実施状況調査において、中学校3年生の英検3級以上取得者が約250名、英検3級以上は取得していないが3級以上相当の英語力を有すると思われる生徒が約240名いる、という調査結果が出ました。

今まで検定を受けてこなかった生徒たちのチャレンジを応援し、中学生の英語力の全体的な底上げを図るため、中学校3年生で英検3級程度以上の英語力を持つ生徒の割合60%を目標に、県で行っている「ふじのくに地域少子化突破戦略応援事業」の補助を受けて、今後3年間で事業期間として始めるものです。

アナ： 検定料の負担がなければ、チャレンジしてみようと思う子たちはたくさんいるでしょうね。

市長： そうですね。子どもたちが「チャレンジしてみよう。」と思うきっかけになればと考えています。

アナ： 今後の三島市の学校教育、「英語力向上プロジェクト」に大いに期待しています。豊岡市長、本日はどうもありがとうございました。

市長： ありがとうございました。